

# 直営施工実施事例集

## 元気な地域づくり交付金

～里地棚田保全整備～

～田園自然環境保全整備～

平成19年3月

農村振興局 整備部

地域整備課 中山間整備事業推進室

# 農家・地域住民等参加型の直営施工について

農家や地域住民の参加で身近な施設を整備します。

## ① 身近な施設が対象

- ・農道舗装、鳥獣害防止柵設置、環境整備工等

## ② 農家、地域住民が主役

- ・農家や地域住民が、自らの意思で工事に参加
- ・工事への参加は、土地改良区等の団体を介して、又は個人で労務参加を申し出

## ③ 工事の管理は事業実施主体

- ・市町村などの事業実施主体が材料を購入し支給
- ・事業実施主体が工程管理、出来型管理を実施

## ④ 工事の管理を支援

- ・必要に応じ、外部機関の技術者を活用して工事の管理を支援

※ 工事の実施方法等詳細については、農家・地域住民等参加型の直営施工推進マニュアル

(<http://www.maff.go.jp/nouson/top/rikai/chokuei>) を参照。

# 直営施工基礎データに関する考察

## 【メリット】

○ 直営施工を行うことは、通常の工事と比較すると、発注先の管理費等を削減できるため、コスト削減を期待できるということ、地域住民自らの手により施工することにより、地元ニーズに的確に対応できること、施設に対する愛着醸成、維持管理に対する意識が向上すること等があげられます。

## 【課題等】

○ 一方で、直営施工の実施には、一定程度の技術力を要すること、農村地域の高齢化等により、労力の確保が困難となっていることが課題となっています。

## 【その他】

### (工種)

・ 直営施工で実施する工事内容は、高度な技術を要しない工種が多く、多いものから農道舗装(コンクリート舗装)、鳥獣害防止柵設置となっています。

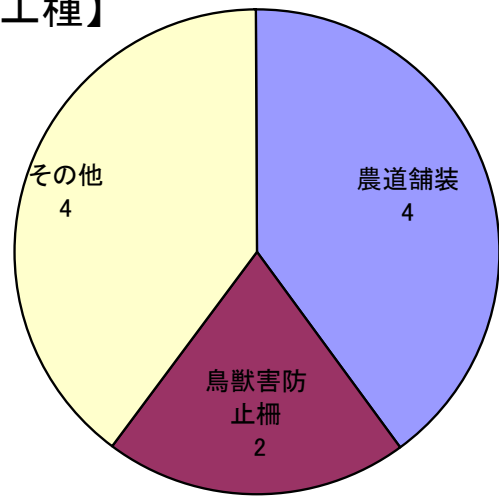
### (事業費(直営施工にかかるもの))

・ 直営施工にかかる事業費については、100万円未満のものが4事例と少額(小規模)のものが多く見受けられます。

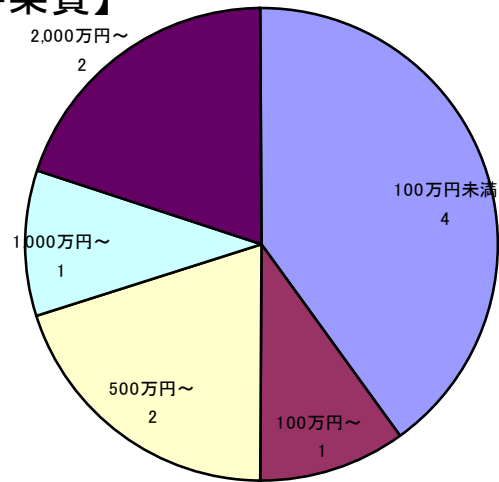
### (縮減率)

・ 直営施工対象工種について縮減率を算出しましたが、平均して4割程度のコスト縮減を図れる結果となりました。

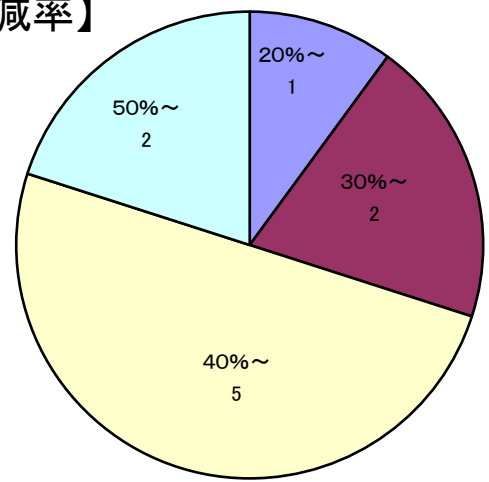
## 【工種】



## 【事業費】



## 【縮減率】



※ データは、平成17年度直営施工実施地区を対象とした。

# 【事例① 農道舗装】

(新潟県上越市 安塚区 船倉地区)

コスト削減額:9,707千円

(直営施工工事費:8,605千円)

実作業日数:13日間

労務参加者延べ人数:73人

参加主体:上船倉棚田百選地区協議会

対価の支払い: 無

## 施工状況写真

状況写真等



## 対象工種(整備内容)

農道整備(コンクリート簡易舗装) L=2,358 m

## 直営施工に至った経緯

天水棚田と呼ばれている本地区の農道は、標高差がある急勾配( $I=4\% \sim 20\%$ )の未舗装の砂利道でした。降雨時には路面が洗掘されるため路面状態が非常に悪く、農作業車の走行に際してスリップ等の危険性が伴うとともに、降雨融雪で砂利が流されるため、毎年補修と維持管理に多大な労力を費やしていました。

本事業では、施工に際して材料支給による直営施工で経費を最小限に抑えること、また、受益者自身が農道を今後管理していくという観点から、地域住民参加型での直営施工により農道舗装を実施し、農作業の安全な通行の確保と維持管理労力と経費の節減を図りました。

## 直営施工の効果と課題

材料支給による直営施工により、請負施工と比べ9,707千円のコスト削減ができました。また、地域住民が参加していることから、施工しながら細部についても要望を聞き取ることができるため、施工時に待避所の位置を決定し、スムーズな車両のすれ違いができるようになりました。

課題として、地区の過疎・高齢化が進む中、直営施工時の人員確保が困難でした。

## 地域概要(現状)

安塚区は、長野県と境を接する県南西部に位置し、東西7.0km、南北14.8km、総面積は70.23km<sup>2</sup>です。気候は日本海特有の気候であり積雪は平地で2m、山間部の多いところで4~5mに及ぶことから、特別豪雪地帯に指定されています。

本地区は、標高280m~425mで農業が営まれおり、特に景観の美しい「全国棚田百選【上船倉】」に認定されている地区(3.5ha)を中心に棚田保全協議会を設立してその保全活動に取り組んでいます。

## 【事例② 鳥獣害防止柵設置】

(群馬県 みなかみ町水上地区)

コスト縮減額: 14,903千円 (直営施工工事費: 21,693千円)

実作業日数: 90日間

労務参加者延べ人数 300人

参加主体: 農事組合

対価の支払い: 無

### 施工状況写真



### 地域概要(現状)

本地区は、平成5年以降ニホンザルによる農作物被害が顕著となり、藤原地区におけるツキノワグマの被害と相まって、農家の営農意欲減退と農業収入の減少を招いています。

### 対象工種(整備内容)

猿用電気柵 L=11.8km

### 直営施工に至った経緯

本事業の計画にあたり、地域住民活動を策定する中で、コスト縮減(地元負担金の軽減等)や鳥獣害防止柵設置後の維持管理の省力化等を含め検討した結果、冬場の積雪から防護柵を守るための設置撤去作業に対し、集落共同活動で取り組むこととしました。

### 直営施工の効果と課題

直営施工の効果としては、コスト縮減を実現することが出来、より多くの箇所に設置が可能となりました。

# 【事例③ 親水施設】

(愛媛県 内子町 泉谷地区)

コスト縮減額:507千円

(直営施工工事費:669千円)

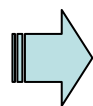
実作業日数:9日間

労務参加者延べ人数 47人

参加主体: 地域住民

対価の支払い:有

## 施工状況写真



## 完成写真



## 対象工種(整備内容)

水路工 (石積水路:幅1.0m×高さ0.5m) L=21.0m

## 直営施工に至った経緯

この地区は棚田の保全活動に力を入れており、積極的に棚田保全に関わっていきたいという地域の意向から、湧水の導水路改修を地元住民でもできる石積みによる直営施工により、実施しました。

## 直営施工の効果と課題

効果としては、全体事業費削減によるコストを縮減することが出来たこと及び地域住民が協同施工を行うことにより、団結力が強くなることが挙げられます。

また、課題としては、地域住民の高齢化により、人材の確保が難しくなっています。

## 地域概要(現状)

愛媛県内子町は「町並みから村並みそして山並みへ」をキャッチフレーズに特色ある地域づくりを進めており、この地区は、4戸9人と過疎化・高齢化が進んでいますが、棚田百選に選定された美しい棚田があり、地域をあげて保全活動をしています。

毎年たくさんの観光客が訪れるところで、内子町のなかでも屈指の景観を有する地域です。

# 【事例④ 交流活動基盤】

(長野県 北安曇郡白馬村 青鬼地区)

コスト縮減額: 299千円

(直営施工工事費: 361千円)

実作業日数: 3日間

労務参加者延べ人数 17人

参加主体: 住民団体

対価の支払い: 有

## 施工状況写真



着手前



石臼

鹿威し形式の精米機

竣工



直営施工 作業状況



## 地域概要(現状)

青鬼地区は1級河川姫川右岸の河岸段丘上部に位置し、村中心部から離れた山間集落です。そのため棚田や重要伝統的建造物群など独自の農耕文化を形成しており、これら農耕文化の伝承や歴史的文化遺産の保全を目的として、地区内外からの参加による各種ボランティア活動等が実施されている他、北アルプスを眺望する景観の良さから四季を通じて来訪者が絶えない村の観光人気スポットとなっています。

## 対象工種(整備内容)

歴史的遺産保全『がったり』 N=1箇所

## 直営施工に至った経緯

青鬼集落は、文部科学省による重要伝統的建造物群にも指定され、棚田の保全を含め農村風景の美しさを残しています。

同地区の伝統的建造物群は江戸時代後期から明治にかけて造られた建物といわれ、集落から続く棚田と合わせて、独特の風致をつくり出しています。

これら建築物の一つとして古くから農耕作業等に利用されていた『がったり』を地域住民が主体となって再整備、保全することにより、地域主体による保全意識の高揚を図ります。

## 直営施工の効果と課題

集落の重要伝統的建造物群の中にあつて、ほぼ集落の中心に位置する『がたり』が観光的な景観を保全するだけでなく、地域住民主体による保全活動の象徴となっています。

今後は、集落住民の高齢化等により、地域住民だけの保全活動の継続は困難な状況になることが予想されるため、地区外からのボランティア活動等の持続、受入れ体制等が課題となっています。

# 【事例⑤ 植栽工】

(石川県羽咋市神子原地区)

コスト縮減額: 220千円

(直営施工工事費: 735千円)

実作業日数: 2日間

労務参加者延べ人数 52人

参加主体: 神子原地区夢づくり協議会

対価の支払い: 有

## 施工状況写真



作業状況



神子原地区の棚田の風景



植栽状況



オーナーによる田植え風景

## 地域概要(現状)

神子原・千石地区は、能登半島の玄関口にある石川県羽咋市にあり、標高150m~200mの富山県との県境に近い山間に位置しています。階段状の棚田が大きく広がり、大半が水稻で占められている。水稻の50%は「種子田」として県の指定を受けており、優良種子を出荷しています。

同地区では平成17年度より、棚田オーナー制度を実施しており、都市農村交流が盛んに行われています。

## 対象工種(整備内容)

植栽工 L=604m

## 直営施工に至った経緯

- ・平成12年4月に『神子原地区夢づくり協議会』を結成し、地域住民の結束と地域の活性化を図るため
  - ①地域内の棚田の有効活用
  - ②自然:景観形態の維持
  - ③住民参画でのさまざまな行事等の実施を行うこととしました。今回の植栽についても、その事業の1つとして実施したものです。

## 直営施工の効果と課題

当該地区では棚田オーナー制度を実施しており、植栽はオーナー田付近で行なったが、田植え時期には花も満開で、オーナーにも大変好評でした。

一方、共同で植栽を行うことで地域住民間の絆も深まり円滑なコミュニケーションが図られました。また身近にある棚田や自然が地域の貴重な財産であると再認識が出来ました。

課題としては、農道の路肩や法面に植栽したシバザクラやヒメイワダレソウが覆うまでの間除草等の維持管理方法について労力節減のための工夫が必要です。



# 【事例⑥ 畦畔整備】

(宮崎県 高千穂町 五ヶ所地区)

コスト縮減額: 2,259千円

(直営施工工事費: 660千円)

実作業日数: 13日間

労務参加者延べ人数 26人

参加主体: 地区住民

対価の支払い: 無

## 施工状況写真



完成状況



施工状況

## 地域概要(現状)

高千穂町は宮崎県の最北西部に位置し、九州山脈を形成する山岳地帯の一部にあり、平坦地の少ない典型的な農山村地域です。農地のほとんどが棚田地形を成し、農作業は困難ではあるが、棚田の一枚一枚が、貴重な農地です。天孫降臨の地として「高千穂の夜神楽」に代表される伝統芸能を継承するように先祖代々に渡り守り続けてきた農地を大切に維持しています。

## 対象工種(整備内容)

畦畔整備 L=600m

## 直営施工に至った経緯

本町においては、以前より単独事業にて、生コン・畦畔ブロックの支給により、農道・畦畔の整備を直営施工にて実施しており経験豊富な地区が多く、スムーズに事業に取り組めたこと。またコスト縮減が図られ、事業量の増にもつながるため、地元住民から要望も多数ありました。

## 直営施工の効果と課題

本事業の実施により、棚田地域における耕作、保全の省力的管理方法を推進し、共同耕作体制を支援しています。また、補助事業の導入や中山間直接支払制度と兼ね合わせ一層の整備を図るとともに、現在でも集落で実施している維持管理を充実させることとしています。ただ、今後直営施工を取り組む場合は、高齢化等により地域の取りまとめ等が困難になってくるのが、予想されます。

## Q&A

Q1

既に採択された事業について、いかに簡単な作業だとしても、事業実施主体は補助事業としての出来高等に対する責任がありますが、直営施工でも大丈夫なのでしょうか？

A.  
直営施工は、農家・地域住民等の参加により、施工可能な範囲で行うもので、自ずと工種は限られます。事業実施主体としては、直営施工全体の管理を行って、出来高等に対しても責任があることから、作業の難易度、安全確保に十分な配慮が必要です。

Q2

直営施工の労務参加に対する対価支払対象者が、事業の受益者である場合、対価の支払いは可能でしょうか？

A.  
直営施工は、補助事業等の対象工種に対して実施するものであることから、対価の支払いは可能です。

Q3

直営施工を導入する、しないの判断は誰が行うのですか？ また、導入に当たっての基準はありますか？

A.  
事業実施主体が地元へ説明し、農家や地域住民からの参加の申し出を受けて、事業実施主体が判断することとなります。